

やっています!

小腸Wバルーン内視鏡

小腸の全観察が可能。小腸の腫瘍・炎症・出血など、胃や大腸とは異なった疾患を早期発見・治療することができます。

検査時間は平均1～2時間程度で、鎮静剤の麻酔をかけ、眠ったような状態で検査を受けて頂きます。

小腸Wバルーン内視鏡検査方法

長いスコープとバルーンの付いたオーバーチューブを組み合わせたものです。X線透視で適宜位置を確認しながら、バルーンを膨らませたりへこまして(図1)オーバーチューブとスコープを進めたり引いたりすることにより、長い小腸を折りたたむように縮めながら奥へ進めます。経口的にも経肛門的にも挿入することが可能で、両方からの挿入を組み合わせることにより小腸すべてを観察することもできます。出血に対して止血したりポリープを切除したり、狭いところを広げたりすることもできます。

また、大腸が長かったり癒着のために大腸内視鏡を挿入することが困難な方に対しても有用です。

図1

